

令和4年度事業計画書

札幌市若者支援施設

令和4年度 事業計画書

[若者支援事業課]

1. 事業方針

「居場所のサイコウと新たなステージへの飛躍」

失われた居場所と機会を取り戻し、更なる飛躍につなげるために中期的に取り組む。

市内に広げた居場所に集まる若者の声を、社会に届けることをとおして、「子ども・若者の権利」に係る若者の主権者意識を育む。

令和3年度においては、コロナ禍の長期化により、生活への不安やコミュニケーションの機会を失った若者が増加する中で、2カ年計画の1年目として「失われた居場所と機会」を取り戻すための取り組みを進めてきた。

「居場所の拡充」においては、コロナ禍の影響から、小さな居場所を施設外に作る動きとして「ミニプラ・アウトリーチ」事業を強化した結果、若者にとっての必要な居場所の確保につながると同時にさまざまな進展や気づきを得ることができた。令和4年度に向けては、アウトリーチでの新たな出会いを継続するとともに、居場所で出会った「子ども・若者当事者」の声を基にアドボカシーを推進していくことが、私たちがやるべき社会参加支援であると認識し尽力していく。また、新規利用者や利用人数の獲得目標を下回る状況が続いたが、オンライン事業「ミニイベント・学校連携・他都市交流」やSNSによる広報活動の工夫に取り組んできた実績を踏まえ、対面や集合にこだわらず、オンラインを駆使し若者が参加しやすい環境整え、とりわけ交流の機会を失った大学生を対象に事業を展開していく。

デジタル戦略については、さらに工夫を重ねながら、全国の若者支援団体とのオンライン実践交流や活動協会内の発信と連携を並行して取り組み、数値では表すことのできない Youth+ の「社会的役割」や「質的評価」の研究と発信を継続していく。

これらのことを踏まえ、これまで築いた経験を活かしリーダーシップを発揮し、市民の方との協働を進めるための取り組みをけん引し、広くきめ細かな「誰一人取り残さない若者支援」のネットワークの構築を目指す。

2. 重点目標

事業方針に基づき、以下の点を令和4年度の重点目標とする。

(1) 地域活動等事業

ア 地域若者サポートステーション事業常設サテライト運営

江別市、石狩・空知管内道央地域における、職業的自立に向けたキャリアコンサルティングや就職支援プログラムを実施する。なお、常設サテライトは、札幌地域若者サポートステーション事業の仕様に含まれる。

イ 白石区複合庁舎まちづくりイベント広場等管理運営事業 <予定>

白石区複合庁舎まちづくりイベント広場の運営をとおして、市民の地域参加およびまちづくり団体などの活動拠点として参加団体の調整やイベントの運営を行い、賑わいを創出する。

(2) 施設運営等事業

ア 若者の居場所機能の拡充およびユースワークの理念の共有については、評価指標を基に段階的に構築する。

運営開始している6拠点および新規拠点については、<別紙>居場所づくりの評価指標(YMO-Scale)に基づき、設置地域の課題に沿った運営スタイルを確立する。

イ 居場所で出会った「子ども・若者当事者」のアドボカシーを推進する。

当事者である子ども・若者自身が意見表明することによって、自身の環境や社会が変わることを体感し、「子ども・若者の権利」を身に付ける機会を提供する。

「子ども・若者当事者」の声を大人や社会に届ける体験を主導することにより、社会参加－社会参画意識への発展を模索していく。

ウ さっぽろの若者支援のトップリーダーとして事業推進し「発信力」「影響力」を高める。

ア) 若者の一人ひとりと深く向き合いながら、先駆的な取り組みにチャレンジを続けるトップリーダーとしての姿勢・立ち位置を再認識し、他都市との課題共有や実践交流を含めた新たなスタイルを生み出す影響力や、人や組織を動かす発信力を高めていく。

イ) 数値では表すことのできないYouth+の「社会的役割」や「質的評価」の認知向上を目的にエピソード評価の研究と発信を継続していく。

エ デジタルリソース・データを最大限に活用した効率的・効果的な運営。

<事業的側面>

ア) Web 会議システムの事業利用の本格化、意見集約等 SNS の活用方法の見直しを行い、情報リテラシーを保持しながら、いずれの事業実施においても物理的距離・時間・身体・経済的制約から若者が解放され参加できる環境をつくる。

イ) 来館・利用者証発行という「施設に紐づいた利用者」という概念から離れ、より広範囲、多様な若者の利用を獲得する。

<管理的側面>

ア) 主たる対象である若者とのユースワークの時間を効果的に活用するために、情報リテラシーを保持した上で、デジタルリソースを積極的に活用し効率化を図る。

イ) 課内各施設間における職員の実践・技術交流を促進し、職員一人ひとりの経験値の幅を広げる。

3. 数値目標

コロナ禍においては、これまで講じてきたあらゆる手段や対策に対して、停滞していた人の動きや社会情勢は徐々に回復しているが、コロナ発生以前の状況に戻ることは想定しがたく、また、新たな施設利用の選択肢を提案する段階に入っていると考えている。

令和4年度においては、施設利用や事業参加に向けて、当課の利用者層は社会の変化に柔軟に対応し得る若者世代であることを鑑み、施設利用と併用しデジタルリソースの活用によって、より多くの若者の利用や参加の促進を図り目標達成を目指す。

項 目	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績見込)
利用証の発行を受けた若者等登録者数	11,000 人	7,897 人
若者等登録者の延べ利用者数	180,000 人	91,099 人
新規に相談を受けた自立支援登録者数	400 人	310 人
進路決定および最適な支援機関につながった 困難を有する若者数	345 人	200 人
交流促進プログラムに参加した若者の延べ人数	6,500 人	4,112 人
社会活動及び育成プログラムに参加した若者 の延べ人数	3,000 人	2,556 人

【共通目標】

項 目	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績見込)
①利用者総数	230,000 人	112,580 人
②事業プログラム参加者総数	40,000 人	31,833 人
③利用者アンケートにおける満足度	98%	98%

5. 事業実施計画書（施設運営等事業）

(1) 若者支援施設全施設共通

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
1	プロジェクト型 交流促進事業 アウトリーチ推進事業 (継続)	ユースワークを必要とする若者に早期に会い、若者支援を届ける。 学校や家庭以外の居場所、自己実現の機会を提供していく。 [実施事業] *出張ユース・ワーク ・学校内居場所 ・定期訪問型 ・随時訪問型 *キッチンカー [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績 出張ユースワーク：通年・10校 実績予測10校 キッチンカー：73回 実績予測88回	0	セ 1,396
			【令和4年度】 出張ユースワーク：通年・10校 キッチンカー：通年・随時	0	セ 1,565
2	プロジェクト型 社会参加促進事業 LGBTQ推進事業 (継続)	主に自身の性に違和感を抱えた若者に向け、性別等にとらわれない居場所の提供を行う。若者のニーズを把握し、若者にとって有効な情報を勉強会等を通して提供する。 また、各Youth+においてLGBTQへの理解や関心を持つ機会を提供する。 [実施事業] ・Youth+にじーず札幌ほか [協働団体] ・にじいろほっかいどう ・L-Port	【令和3年度実績予測】 12月までの実績7回 実績予測11回	0	セ 80
			【令和4年度】 通年・月1回	0	セ 180
3	プロジェクト型 全Youth+重点事業 居場所拡充推進事業 (レベルアップ)	若者を支える基盤となる「居場所づくり」のステップアップを目指すことを目的に取り組む。 居場所づくり評価指標（YMO-Scale）に基づき実施する。 [実施事業] ・各Youth+の居場所運営等	【令和3年度実績予測】 通年・随時	0	セ 100
			【令和4年度】 通年・随時	0	セ 150
4	プロジェクト型 調査研究事業 若者の声発信 (継続)	Youth+を利用する若者たちの現実の姿などを学校や関連施設、全国の施設等へ発信し、札幌の取り組みを広く周知し認知度を高める。数値では表すことのできないYouth+の社会的役割や質的評価の研究と発信を継続していく。 また、全国の先進事例をリサーチし、相互に刺激を受け合う関係性を強化する。 [実施内容] ・通信の発行および調査・研究	【令和3年度実績予測】 12月までの実績1回 実績見込み1回	0	セ 1,000
			【令和4年度】 通年・随時	0	セ 1,000

(1) 若者支援施設全施設共通

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
5	自立支援事業 自立支援相談 (レベルアップ)	<p>困難を有する若者が適切な相談につながるきっかけをつくることを目的として、Youth+全館で個別支援を行う。</p> <p>[実施事業] ・複数の有資格者を配置し、個別相談を行う。 ・オンラインも活用しながら相談支援を展開する。 ・適切なタイミングで支援に最適な機関へつなぐ。 ・相談者向け満足度調査を行う（年1回）。</p> <p>[対象] 概ね15歳～39歳の若者とその家族等</p>	<p>【令和3年度実績予測】 通年・随時 新規登録：310名 (うち30名は他Youth+利用) 進路決定：200名</p>	0	0
			<p>【令和4年度】 通年・随時 新規登録：400名 (うち40名は他Youth+利用) 進路決定：345名</p>	0	0
6	自立支援事業 自立支援プログラム (継続)	<p>相談者一人ひとりの社会的自立に向けて、適切なアセスメントを行うことを目的として、グループプログラムを行う。また、オンラインも活用して実施する。</p> <p>[実施事業] ①初期支援プログラム（SS塾・創作会・女子会・YOGA会・対人イハ・雑談力・いとこんち等） ②就労支援プログラム（ワーカーズファーム・おしごとSTEPS・職場体験報告会・ワーカーズチャレンジ・10代バト塾等） ③各種セミナー（自己分析・面接対策・労働法・心理師に学ぶストレスとのつきあい方・お仕事セミナー等） ④キャリアアップ応援プログラム（お仕事座談会等） ⑤家族の会</p> <p>[対象] 自立支援事業登録者</p>	<p>【令和3年度実績予測】 通年 ①初期支援プログラム：週2回 ②就労支援プログラム：週2回 ③各種セミナー：月4回 ④キャリアアップ応援プログラム：月1.5回 ⑤家族の会：月1回</p>	0	セ 139
			<p>【令和4年度】 通年 ①初期支援プログラム：週2回 ②就労支援プログラム：週2回 ③各種セミナー：月4回 ④キャリアアップ応援プログラム：月1.5回 ⑤家族の会：月1回</p>	0	セ 170

(1) 若者支援施設全施設共通

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容 (対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
7	自立支援事業 中学校卒業者等進路支援事業 (継続)	<p>切れ目ない支援体制を構築することを目的として、学校や関連施設・団体と連携する。</p> <p>[実施事業] ・学校や関連施設等へ訪問して周知活動を行う。 ・連携を図りながら継続的な連絡・相談を行う。</p> <p>[対象] 中学校・高校の卒業時または高校中途退学時に進路未定の若者</p>	<p>【令和3年度実績予測】 通年・随時 ○新規情報提供：50名 ○支援につながった生徒数：50名</p>	0	119
			<p>【令和4年度】 ○新規情報提供：50名 ○支援につながった生徒数：50名</p>	0	0
8	自立支援事業 セミナー等の開催 (レベルアップ)	<p>自立支援事業の周知・啓蒙・人材育成を目的として、子ども・若者の声を直接届ける機会をつくり、各種広報事業を行う。</p> <p>[実施事業] ①出張説明・相談会：隔月は来所とオンラインのハイブリッド開催、年4回は区民センターにて、ひきこもり地域支援センター、自閉症・発達障がい支援センター、生活就業支援センター等と合同開催する。 ②一般市民向けセミナー ③支援者向けセミナー</p> <p>[対象] 自立支援事業対象者や支援者等</p>	<p>【令和3年度実績予測】 通年 ①出張説明・相談会：年16回 ②一般市民向けセミナー：年1回 ③支援者向けセミナー：年1回</p>	0	5
			<p>【令和4年度】 通年 ①出張説明・相談会：年16回 ②一般市民向けセミナー：年1回 ③支援者向けセミナー：年1回</p>	0	889
9	自立支援事業 地域若者サポートステーション事業 (継続)	<p>就労支援体制の充実を目的として、職業的自立に向けたキャリアコンサルティングや就職支援プログラムなどを実施する。(厚生労働省事業)</p> <p>[実施事業] ・地域若者サポートステーション事業の受託・実施</p> <p>[対象] 15歳～39歳までの若者、40代の就職氷河期世代</p>	<p>【令和3年度実績予測】 通年・随時</p>	セ 40,794	セ 40,794
			<p>【令和4年度】 通年・随時</p>	セ 42,019	セ 42,019

(1) 若者支援施設全施設共通

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
10	自立支援事業 子ども・若者支援地域協議会 (継続) ※こども事業課・こども育成課・市民参画課連携事業	切れ目のない自立支援ネットワークを構築することを目的として、地域協議会の調整機関として、構成機関および地域の民間支援団体のコーディネートを行う。 [実施事業] ・実務者会議の開催 ・代表者会議への参加 ・子ども・若者支援セミナーの開催 [対象] 子ども・若者支援地域協議会構成機関	【令和3年度実績予測】 通年・随時 ①実務者会議：年4回 ②代表者会議：年1回 ③子ども・若者支援セミナー年1回※「広報セミナー等」参照	0	100
			【令和4年度】 通年・随時 ①実務者会議：年4回 ②代表者会議：年1回 ③子ども・若者支援セミナー年1回※「広報セミナー等」参照	0	0
11	自立支援／市交流促進／社会参加促進事業 共通 情報コーナーの設置 (継続)	若者団体および社会参加に関する情報を収集し、自由に閲覧ができるコーナーをロビーに設置する。資料等を配架し、若者にとって有効な情報提供を行う。	【令和3年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和4年度】 通年・随時	0	0
12	自立支援／交流促進事業／社会参加促進事業 共通 ホームページ管理 (継続)	ホームページやSNSを活用し、施設の利用案内のほか、利用者が求める情報を手軽にアクセスできる環境を設定する。	【令和3年度実績予測】 通年・随時	0	350
			【令和4年度】 通年・随時	0	250
13	交流促進事業 他都市との交流実践 (継続)	Youth+を利用する若者と他都市の若者支援施設を利用する若者を、オンラインなどを活用し、意見交流を図る。他都市との交流をとおして、若者自身の視野を広げるきっかけとする。	【令和3年度実績予測】 12月までの実績0回 実績見込み1回	0	50
			【令和4年度】 通年・随時	0	50
14	交流促進事業 若者団体 ネットワーク構築 Youth+NET構築 (継続)	若者団体や協働（連携）団体の情報を広く収集し、市民へ向けて意図的に情報を発信していく。また、Youth+が身近な施設であることが認識されるように、各団体にとって有効な情報発信を行う。	【令和3年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和4年度】 通年・随時	0	0

(1) 若者支援施設全施設共通

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
15	交流促進事業 若者の交流相談 ロビーワークの実施 (継続)	若者一人ひとりに合わせワーカーが意図を持って介入し、関係構築を図る。併せて、日々の実践を記録化し、全Youth+において情報共有を行いケース検討へとつなげる。また、職員の専門性の向上を目的に知識や手法の蓄積を図る。	【令和3年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和4年度】 通年・随時	0	0
16	社会参加促進事業 育成プログラム ユースワーカー 養成講座 (継続)	大学生世代を対象に、ユースワークの担い手の育成を目的とした講座を開催する。 〔対象〕学習支援やボランティアに参加している大学生世代および職員等	【令和3年度実績予測】 12月までの実績10回 実績予測15回	0	100
			【令和4年度】 年8回以上	0	170
17	社会参加促進事業 学習支援ボランティア の養成 (継続)	「まなびのサポート事業」学習支援サポーターの社会参加意識の醸成を目的に実施する。 グループワークの計画立案及び運営補助やサポーターへの個別面談や振り返り会におけるスーパーバイズを行う。 〔対象〕大学生50名程度（各館10名）	【令和3年度実績予測】 12月までの実績14回 実績見込み24回	0	0
			【令和4年度】 通年・40回程度	0	0
18	社会参加促進事業 さっぽろ青少年女性活 動協会連携事業 (継続)	当財団内における連携を行い、双方が持つ力を活用し、若者に向けてより効果的な取り組みにつなげていく。また、子どもや若者に関わる知識の会得やそこに携わる人材の育成を目的とする。	【令和3年度実績予測】 12月までの実績0回 実績見込み1回	0	0
			【令和4年度】 通年・随時	0	0
19	社会参加促進事業 地域活動ネットワーク 構築 地域若者サポーターの 獲得と協働 (継続)	地域住民、活動団体、専門機関等、協働パートナーを獲得し、ネットワークを構築する。多方面でパートナーとの協働および連携事業を展開する。	【令和3年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和4年度】 通年・随時	0	0

(1) 若者支援施設全施設共通

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
20	社会的自立に関する調査研究事業① テーマを決めた調査研究 (継続)	利用者登録申請用紙裏面アンケート、事業実施後アンケートおよび関係機関へのヒアリングなどを踏まえた調査・分析を行い、若者や社会ニーズを捉えた施設運営を図る。 なお、若者支援施設運営協議会において報告・提案し委員の意見を運営に反映する。	【令和3年度実績予測】 12月までの実績2回 実績見込み3回	0	100
			【令和4年度】 通年・3回	0	100
21	社会的自立に関する調査研究事業② 若者を取り巻く環境の調査 (継続)	若者支援に関連する事業調査や実践研究を目的に、全国の同業者組織等へ職員を派遣する。知り得た情報や調査・研究内容を踏まえ、若者を取り巻く社会ニーズに応じた取り組みにつなげる。 また、併せて職員の専門性の獲得の機会とする。 [令和3年度実績予測] ・CDA資格講習 ・法政大学平塚教授科研の参加 ・全国ユースワーク実践団体意見交換など	【令和3年度実績予測】 通年・随時	0	445
			【令和4年度】 通年・随時	0	445
22	さっぽろ若者支援ネットワーク構築事業 若者支援施設運営協議会の設置および開催 (継続)	外部委員等により構成する会議体を運営する。会議開催にあたっては、事業や管理業務等の状況報告および運営水準の向上に係る協議を行う。また、若者支援施設を運営するうえでの方向性等の検討を行う場とする。	【令和3年度実績予測】 7月・11月・3月の3回	0	115
			【令和4年度】 7月・11月・3月の3回	0	125
23	その他事業 インターンシップ・実習生の受け入れ (継続)	若者支援に携わる人材育成や認知度の向上を目的に、依頼に応じて大学生インターンシップや職場実習を受け入れる。 ・大学生インターンシップ 等	【令和3年度実績予測】 12月までの実績8回 実績予測12回	10	0
			【令和4年度】 通年・随時	30	0

(1) 若者支援施設全施設共通

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容 (対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
24	その他事業 視察受け入れ 講師派遣 (継続)	外部からの依頼に基づき、視察・見学の受け入れやスタッフの講師・委員派遣等を行う。 [令和4年度実績予測] ・視察受入 (各都道府県市町村、大学、専門学校、高校、ハローワーク、市保護自立支援課、障がい者支援事業所、各種法人等) ・講師派遣 (内閣府、厚生労働省、各都道府県市町村、大学、高校、中学校、市教育委員会、市児童相談所、市障がい福祉課、各種法人等)	【令和3年度実績予測】 12月までの実績148回 実績見込み185回	300	25
			【令和4年度】 通年・随時	500	30
25	その他事業 若者の住居支援事業 (継続) ※こども育成課 ・こども事業課連携事業	家庭からの自立を必要とする若者や児童養護施設等を退所した若者への自立支援を目的とし、生活活動機会および自立に向けたサポートを行う。 [実施事業] ・拠点型住居支援事業 「いとこんち」の運営。 ・外部団体・個人との協力・連携体制の構築。 [対象] おおむね13歳～19歳までの子ども・若者、児童養護施設等の出身者は24歳まで、子育て中のひとり親は29歳まで ※必要経費については、こども若者応援基金や助成金等を活用する。	【令和3年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和4年度】 通年・随時	0	0
26	その他事業 環境への取り組み (継続)	環境配慮に係る周知および啓発等を行い、利用者が共に考え行動するための機会を提供する。 また、環境行動マニュアルに基づいた施設運営に取り組む。	【令和3年度実績予測】 通年・随時	0	0
			【令和4年度】 通年・随時	0	0

(1) 若者支援施設全施設共通

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
27	その他事業 システム環境の整備 (継続)	施設管理を中心とした業務フローの見直しや業務のシステム化・デジタル化を図り、市民への利便性の向上および事務の効率化を推進する。	【令和3年度実績予測】 通年・随時	0	200
			【令和4年度】 通年・随時	0	200
28	自主事業 飲料等の販売 (継続)	利便性の向上および収益の確保のため、対面による飲料等の販売や自動販売機の設置を行う。 なお、収益は若者のニーズを反映させた備品更新等に充てる。	【令和3年度実績予測】 通年・随時	セ 420 ア 300 ポ 252 豊 375 宮 450	セ 360 ア 240 ポ 216 豊 375 宮 430
			【令和4年度】 通年・随時	セ 420 ア 240 ポ 180 豊 420 宮 336	セ 360 ア 240 ポ 180 豊 420 宮 72

(3) Youth+アカシア (札幌市アカシアセンター)

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容 (対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 (レベルアップ)	施設を利用する幅広い層の若者を対象とし、興味・関心が持てる企画をその時折の流行を取り入れ展開する。また、若者の意見を反映させていくとともに、安心して他者との交流を図ることができる居場所を創出する。 [実施事業] ・アカシアタイム ①アカシアGAMECLUB ②自習室FREEDAY ③体育室FREEDAY ④アカシアキッチン [対象] 主に15歳～24歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績58回 実績見込み72回	0	50
			【令和3年度】 通年・月6回以上	0	80
2	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 「居場所拡充事業」 (レベルアップ)	さまざまな理由から施設で出会うことの難しい若者や児童会館利用対象者から外れた若者を対象に、地域の中で安心ができる居場所 (拠点) や機会を提供する。また、地域の中で信頼のおける大人を発掘し、若者にとって必要な新たな出会いの場を創出する。 [実施事業] ・ミニプラ ①ぽぶ会 ②からんこえ ③しのろミニプラ (仮) ・出張ユースワーク [対象] 主に15歳～20歳までの若者・市民	【令和3年度実績予測】 12月までの実績25回 実績見込み30回	0	72
			【令和4年度】 通年・月2～4回程度	0	100
3	交流促進事業 交流促進プログラム イベント型 (継続)	Youth+を利用する若者の声を反映させた事業を展開する。若者とともに事業企画・運営を行い、自己実現と若者同士の交流を図る機会を創出する。 [実施事業] ・ミニライブ ・ワークショップ [対象] 主に15歳～24歳までの若者・市民	【令和3年度実績予測】 12月までの実績0回 実績予測3回	5	25
			【令和4年度】 通年・年4回以上	10	65

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容 (対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
4	交流促進事業 交流促進プログラム グループ育成型 (レベルアップ)	<p>若者が意欲的に参加・交流を図ることができる居場所づくりを行う。活動をとおして、仲間意識や所属意識を醸成し、自らも居場所づくりに参画する機会を創出する。</p> <p>[実施事業] ・みんなのアカシア〇〇部 ①着物部 ②イラストクラブ ③スケボークラブ</p> <p>[対象] 主に15歳～22歳までの若者</p>	<p>【令和3年度実績予測】 12月までの実績25回 実績見込み30回</p>	10	75
			<p>【令和4年度】 通年・月1回以上</p>	6	95
5	社会参加促進事業 地域の社会活動への参加促進 地域事業への参加 (継続)	<p>若者が活躍できる地域フィールドを形成することを目的に、連携地域との関係性を再構築し、協働団体とともに若者の参加・参画の場を創出する。</p> <p>[実施事業] ・地域連携季節事業 (企画参加) ・サタデースクール</p> <p>[対象] 主に15歳～24歳までの若者</p>	<p>【令和3年度実績予測】 12月までの実績11回 実績予測20回</p>	0	31
			<p>【令和4年度】 通年・随時</p>	0	31
6	社会参加促進事業 育成プログラム① 初期体験型 (レベルアップ)	<p>施設への愛着を持つ機会を創出するとともに、当事者性を高める機会を提供する。イベントデザインの他、施設デザイン (レイアウト) に関わる意見を若者から引き出し反映させる。また、必要に応じて、協働者連携を図る。</p> <p>[実施事業] ・アカシアデザイン研究所</p> <p>[対象] 主に15歳～34歳までの若者</p>	<p>【令和3年度実績予測】 12月までの実績0回 実績見込み1回</p>	0	170
			<p>【令和4年度】 通年・年2回以上</p>	0	200
7	社会参加促進事業 育成プログラム② 社会意識 ボトムアップ型 (継続)	<p>若者にとって身近なテーマを取り上げ、社会課題を共に考える機会を提供する。若者の意見から課題を検討する機会を創出する。</p> <p>[実施事業] ・これってどうなの？</p> <p>[対象] 主に15歳～34歳までの若者・市民</p>	<p>【令和3年度実績予測】 12月までの実績0回 実績見込み1回</p>	0	20
			<p>【令和4年度】 通年・随時</p>	0	20

(4) Youth+ポプラ (札幌市ポプラ若者活動センター)

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容 (対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 (継続)	ロビー利用者を対象とした施設内外を活用した事業を実施する。 実施にあたっては若者の意見を反映し運営する。 [実施事業] ・ミニイベント [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績24回 実績見込み27回	0	45
			【令和4年度】 通年・月1回以上	3	80
2	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 「居場所拡充事業」 (レベルアップ)	Youth+施設外に若者の居場所の選択肢を増やすことを目的として、協働先と連携して事業を実施する。また、地域ネットワークを活用し、居場所となる拠点の調査を行う。 [実施事業] ・アウトリーチ事業 [対象] 主に15歳～25歳までの若者 民生委員または他団体と協働で実施	【令和3年度実績予測】 12月までの実績5回 実績見込み8回	0	10
			【令和4年度】 通年・12回以上	0	10
3	交流促進事業 交流促進プログラム イベント型 (継続)	若者からの意見を取り入れ、季節行事など文化的体験に触れる機会を提供する。 [実施事業] ・季節行事体験事業 [対象] 主に15歳～29歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績3回 実績見込み4回	5	35
			【令和4年度】 通年・年2回以上	3	35
4	交流促進事業 交流促進プログラム グループ育成型 (継続)	共通の興味関心を持つ若者のグループ活動の機会を提供する。実施にあたっては、グループワークの手法を取り入れ、一人ひとりの成長を促す。 [実施事業] ・サークル活動 [対象] 主に15歳～29歳までの若者 地域若者サポーターと協働で実施	【令和3年度実績予測】 12月までの実績2回 実績見込み6回	1	15
			【令和4年度】 1グループ以上 通年・年8回程度	1	15

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容 (対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
5	社会参加促進事業 地域の社会活動への参加促進 地域事業への参加 (継続)	若者が地域事業に参加し、地域の人との交流をとおして、地域に目を向ける機会を創出する。 [実施事業] ・ハロウィン事業 ・地域連携事業 [対象] 主に15歳～34歳までの若者 町内会など	【令和3年度実績予測】 12月までの実績3回 実績見込み3回	0	80
			【令和4年度】 通年・随時	0	50
6	社会参加促進事業 育成プログラム① 初期体験型 (継続)	若者が意見を表明する場を提供する。また、意見を具現化することで若者が施設運営に主体的に関わる意識を育む。 [実施事業] ・利用者モニタリング [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績3回 実績見込み4回	0	150
			【令和4年度】 通年・1回以上	0	150
7	社会参加促進事業 育成プログラム② 社会意識 ボトムアップ型 (継続)	若者が社会に関心を持つきっかけづくりを行う。 多くの若者が参加できるようにさまざまなツールを活用して実施する。 [実施事業] ・〇〇で社会が見えてくる [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績11回 実績見込み15回	0	0
			【令和4年度】 通年・年4回以上	0	10

(5) Youth+豊平（札幌市豊平若者活動センター）

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
1	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 (レベルアップ)	若者が自身の興味関心を広げ、安心して過ごせる居場所づくりを目的として、若者の意見やアイデアを取り入れた交流促進となるイベントを実施する。 [実施事業] ・ミニイベント ・音楽室フリーDAY ・ユープラ×ふりーたいむ [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績67回 実績見込み95回	0	80
			【令和4年度】 通年・月4回以上	0	80
2	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 「居場所拡充事業」 (継続)	関係機関やこども若者支援団体などと連携を図り、Youth+の施設以外の居場所づくりを目的に、居場所に関するニーズ調査と施設の情報発信を行う。 [実施事業] ・とびだせ！Youth+ ・Youth+豊平ネウボラ [対象] 主に15歳～20代の若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績10回 実績見込み10回	0	50
			【令和4年度】 通年・年間2カ所以上の開拓 年4回以上	0	30
3	交流促進事業 交流促進プログラム イベント型 (継続)	施設の新規利用者獲得を目的としたスポーツ交流やワークショップなどを実施する。実施にあたっては、若者のニーズや季節に適したテーマを選定し運営する。 [実施事業] ・ミニライブ ・スポーツ交流会 ・Youth+〇〇講座 [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績4回 実績予測4回	10	120
			【令和4年度】 通年・年3回以上	10	120
4	交流促進事業 交流促進プログラム グループ育成型 (継続)	共通の興味関心を通して仲間づくりの場を提供する。定期的な活動により仲間意識を醸成し、主体的な運営が可能となるようサポートする。 [実施事業] ・豊平たき火部 ・写真部 [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績18回 実績見込み26回	2	40
			【令和4年度】 3グループ以上 通年・月1回以上	2	40

(5) Youth+豊平（札幌市豊平若者活動センター）

(単位：千円)

5	社会参加促進事業 地域の社会活動への参加促進 地域事業への参加 (継続)	若者が身近な地域のボランティア活動等に参加できる基盤をつくり、体験を通じた社会貢献意識の醸成を目的とする。 [実施事業] ・町内会等共催事業への参加 ・貸室利用団体による発表機会 [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績1回 実績見込み1回	6	40
			【令和4年度】 通年・季節適時	6	40
6	社会参加促進事業 育成プログラム① 初期体験型 (継続)	やりたいことや思いを形にすることによる達成感を得て、社会の一員である自分を認識することを目的として事業展開を行う。 [実施事業] ・FMアップル ・豊平プレストミーティング [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績9回 実績見込み4回	0	50
			【令和4年度】 月1回以上	0	71
7	社会参加促進事業 育成プログラム② 社会意識ボトムアップ型 (レベルアップ)	社会の課題や出来事に触れ、意見を表明する機会を提供することで、社会への関心を高める。同時に世代を超えた多様な意見に触れる機会を提供する。 [実施事業] ・〇〇で社会がみえてくる [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績10回 実績見込み14回	0	50
			【令和4年度】 通年・月1回以上	0	10

(6) Youth+宮の沢 (札幌市宮の沢若者活動センター)

(単位：千円)

No.	事業名	目的・内容 (対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 (継続)	若者のニーズに沿い、誰もが気軽に参加できる体験活動や交流イベントを開催し、若者にとって安心できる居場所づくりを行う。 また、若者からやりたいことを引き出し、意見が出された際には速やかに実施し、実現した喜びを実感する機会を提供する。 [実施事業] ・ミニイベント ・100時間イベント [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績30回 実績見込み42回	11	55
			【令和4年度】 通年・月3回以上	6	50
2	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 「居場所拡充事業」 (レベルアップ)	地域との協働で施設外での若者の居場所を展開する。運営に当たっては、協働者が若者支援についての理解を深められるようにアプローチをする。 [実施事業] 居場所拡充事業 [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績2回 実績見込み5回	0	0
			【令和4年度】 通年・月1回以上	0	60
3	交流促進事業 交流促進プログラム イベント型 (継続)	新規来館者の獲得を目的として、多様な若者の興味・関心を引くイベント・講座を実施する。若者からの要望を実現し形にする。 [実施事業] ・ヨガ会 [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績2回 実績予測4回	12	45
			【令和4年度】 通年・年2回以上	3	45
4	交流促進事業 交流促進プログラム グループ育成型 (継続)	若者が他者との交流により新たな気づきを育むことを目指す。また、定期的なグループ活動を実施し帰属意識を高める。 [実施事業] ・卓球部 [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績5回 実績見込み11回	6	50
			【令和4年度】 通年・月2回以上	6	10

(6) Youth+宮の沢 (札幌市宮の沢若者活動センター)

(単位：千円)

5	社会参加促進事業 地域の社会活動への参加促進 地域事業への参加 (レベルアップ)	地域若者サポーターと協働のもと社会参加・参画の場を提供することとおして、社会への関心を高める。 [実施事業] ・お手紙プロジェクト 他 [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績2回 実績予測4回	0	0
			【令和4年度】 通年・随時	0	10
6	社会参加促進事業 育成プログラム① 初期体験型 (継続)	若者が意見を伝え、自らが何かを変えられる一員であると実感することを目的に、話し合いをとおして、物事を決定し活動を行う機会を創出する。 [実施事業] ・おさんぽ部 (仮) [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績6回 実績見込み9回	0	0
			【令和4年度】 通年・年6回以上	0	30
7	社会参加促進事業 育成プログラム② 社会意識 ボトムアップ型 (レベルアップ)	様々な人と対話を重ねることで多様な価値観に触れ、社会の一員としての気づきを促す機会を創出する。 [実施事業] ・社会人講座 [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【令和3年度実績予測】 12月までの実績7回 実績見込み10回	0	0
			【令和4年度】 通年・年1回以上	0	30

4. 事業実施計画書（地域活動等事業）

（単位：千円）

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
1	自立支援事業 その他事業 地域若者サポートステーション事業常設サテライトの運営 （継続）	江別市を中心として、石狩・空知管内の道央地区における就労支援体制の充実を目的として、職業的自立に向けたキャリアコンサルティングや就職支援プログラムなどを実施する。 （厚生労働省事業） ※札幌地域若者サポートステーションの常設サテライトとして、仕様書に含まれる。 [実施事業] ・地域若者サポートステーション事業の受託・実施 [対象] 15歳～39歳までの若者、40代の就職氷河期世代	【令和3年度実績予測】 通年・随時	セ 9,800	セ 9,800
			【令和4年度】 通年・随時	セ 9,270	セ 9,270
2	その他事業 白石区複合庁舎まちづくりイベント広場等管理運営事業 （継続）	白石区複合庁舎まちづくりイベント広場の運営。市民の地域参加およびまちづくり団体などの活動の拠点として、参加団体の調整およびイベント運営の補助を行う。また、ボランティアの調整のほか、ホームページの管理も行う。＜予定＞	【令和3年度実績予測】 通年・仕様書による	3,388	3,388
			【令和4年度】 通年・仕様書による	3,390	3,390
3	その他事業 若者支援関連事業の受託 （継続）	若者支援事業の拡充を目的とし、関連事業を積極的に受託する。なお、受託にあたっては、その都度、仕様書に基づき、若者支援施設の可能性を広げるための手段としての妥当性を協議する。また、新規事案については起案にて伺う。	【令和3年度実績予測】 通年・随時	未定	未定
			【令和4年度】 通年・随時	未定	未定

管理に係る収支計画書(令和4年度)

法人・団体名 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

	科目	指定管理業務			自主事業				計
		管理費	事業費	小計	飲料販売	受託事業	サポステ事業	小計	
収入	指定管理費			174,233					174,233
	利用料金収入			27,978					27,978
	その他収入			5,804	1,596	3,388	36,900	41,884	47,688
	収入計			208,015	1,596	3,388	36,900	41,884	249,899
支出	人件費		140,851	140,851		3,186	33,750	36,936	177,787
	旅費・交通費		1,299	1,299			200	200	1,499
	光熱水費		13,179	13,179	40		174	214	13,393
	通信運搬費		2,103	2,103			806	806	2,909
	租税公課		17,203	17,203		2		2	17,205
	広告宣伝費		1,496	1,496			300	300	1,796
	保険料		531	531				0	531
	賃借料		4,206	4,206			140	140	4,346
	修繕費		1,200	1,200				0	1,200
	消耗品費		4,948	4,948	1,260		428	1,688	6,636
	備品費		1,560	1,560				0	1,560
	印刷製本費		50	50				0	50
	諸謝金		2,364	2,364			1,040	1,040	3,404
	委託費		12,308	12,308		200	15	215	12,523
	支払手数料		132	132				0	132
	行政財産目的外使用料			0	32			32	32
その他	7,309	3,196	10,505			47	47	10,552	
支出計	7,309	206,626	213,935	1,332	3,388	36,900	41,620	255,555	
利益等	収支			-5,920	264	0	0	264	-5,656
	利益還元						0	0	
	法人税等								
	当期純利益								-5,656

- ※ それぞれの項欄について、必要に応じて小区分を設定しても構いません。
 ※ 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 ※ 税込みで記載してください(以下、様式4-3から4-5まで同じ)。
 ※ 「利益還元」の項には、利益のうち還元額を記載してください。
 ※ 様式4-3から4-5までにより積算内容を記載してください。

令和4年度 自主事業計画書

法人・団体名 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

札幌市若者支援施設管理業務等仕様書に定められた業務のほか、施設の設置目的を促進するため、札幌市とも協議しながら自主事業として以下のとおり実施します。自主事業は指定管理業務に支障の無い範囲で行い、事業ごとに区分して経理します。

1 飲料等の販売

利用者への利便性及び収益確保を目的として飲料および軽食等の販売を行います。販売メニューや販売方法などは若者の意見を取入れ、ニーズに即した内容を提供します。

また、販売での収益は、施設モニタリング事業での改修及び備品等の更新を通じて利用者に還元します。

※軽食の提供にあたっては食品営業許可申請や食品衛生責任者の配置等、保健所への申請を行って、安全衛生に留意して実施します。

(収入目標額 1, 596千円)

2 地域若者サポートステーション事業

札幌市と協議の上、厚生労働省（北海道労働局）の「地域若者サポートステーション事業」を受託し、自立支援事業における就労支援機能を強化します。

同業務を受けるにあたり、求められる有資格者を含め適切な人数を配置するとともに、「子ども・若者支援地域協議会」の各関係機関との連携により社会的自立が困難な若者への支援を行います。（地域若者サポートステーション事業の活用については、自立支援に関する業務実施計画としても記載していますが、事業を区分経理するため再掲しています）

(受託費収入予定額 36, 900千円)

3 その他の外部事業の受託

設置目的及び基本構想にかかる「自立支援」「交流促進」「社会参画」の3つの視点に資する外部主催の事業を積極的に受託し、受託に伴う予算を活用しながら施設の効果を最大限に引き出す取組みを行います。

(受託費収入予定額 3, 388千円)

収入予定総額 41, 884千円

自主事業に係る収支計画書(令和4年度)

法人・団体名 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

	科目	指定管理業務			自主事業				計
		管理費	事業費	小計	飲料販売	受託事業	サポステ事業	小計	
収入	指定管理費								0
	利用料金収入								0
	その他収入				1,596	3,388	36,900	41,884	41,884
	収入計				1,596	3,388	36,900	41,884	41,884
支出	人件費					3,186	33,750	36,936	36,936
	旅費・交通費						200	200	200
	光熱水費				40		174	214	214
	通信運搬費						806	806	806
	租税公課						2	2	2
	広告宣伝費						300	300	300
	保険料							0	0
	賃借料						140	140	140
	修繕費							0	0
	消耗品費				1,260		428	1,688	1,688
	備品費							0	0
	印刷製本費							0	0
	諸謝金						1,040	1,040	1,040
	委託費					200	15	215	215
	支払手数料							0	0
	行政財産目的外使用料				32			32	32
	その他						47	47	47
	支出計				1,332	3,388	36,900	41,620	41,620
利益等	収支				264	0	0	264	264
	利益還元							0	0
	法人税等								
	当期純利益								264

- ※ それぞれの項欄について、必要に応じて小区分を設定しても構いません。
- ※ 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- ※ 税込みで記載してください(以下、様式4-3から4-5まで同じ)。
- ※ 「利益還元」の項には、利益のうち還元額を記載してください。
- ※ 様式4-3から4-5までにより積算内容を記載してください。